

令和3年度 社会福祉法人白鳩会事業計画

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大による予防対策などに翻弄されながらの法人・施設運営となり、以前の日常に戻ることは未だ見通しが暗い中、園児、保護者、職員、地域のためにこの一年もできる範囲で最大限の支援を行います。

一方、施設運営に目を移すと幸いなことに各園においては前年度での退職者も少なく、また、採用人事も順調に進んだため安定運営が見込める状態で4月を迎えることができたため、これを好機と捉えて人材の育成や保育内容の充実に力を注ぐため、法人本部からの情報発信や各施設に出向き運営指導を行います。

第三者評価事業の評価項目や厚生労働省が新たに策定した保育の自己評価のガイドラインに基づき自園の運営管理・保育内容の再確認をするため、各園において研修を進め保育の質の向上と人材の育成を行います。

処遇改善Ⅱの支給対象職員にはキャリアアップ研修の受講が必須であるため、未だ単位数の足りていない職員を中心に積極的な受講をさせます。

各施設引き続き採用人事に苦勞しているところですが、複数施設経営のスケールメリットを生かしてコロナ禍の人員補充や災害時の相互の助け合いに取組みます。また、広告や就職フェアの掲載・出展費用を分担で負担し、積極的に採用活動を展開し、これまで多額を支出してきた人材紹介手数料の抑制を図ります。

白鳩チルドレンセンター東大阪と白鳩チルドレンセンター南丘の利用定員について、1号認定子どもの定員を15名に変更し、保育料無償化による幼稚園的利用の地域ニーズに応え、地域子育て支援センター利用者にも入園の促しをして、運営の安定を図ります。

平井保育園は、全額松山市の費用にて老朽改築が令和2年度までに終了し、今までとは全く違う新しい環境での保育のため園児、保護者、職員すべての人々が気持ちも新たに気持ちよく過ごせるよう、新しい一日の保育の流れに沿った生活をします。

園庭の造成工事が未だ完了しておらず、完成は夏になります。工事期間中は引き続き園児の安全には十分留意しながら松山市の指導のもと日々を過ごしていきます。

生石保育園は松山市が保育室面積の再測をしたところ不足が生じていたためプレハブ園舎の増築工事を松山市の全額負担により実施する予定です。この工事により既存のプールを解体することになり、組み立て式プールを購入していただき今夏より運用するため、園児の安全に十分注意し、保育を進めます。